

う え ま ち

上町断層帯

上町断層帯は大阪平野に位置する活断層帯で、活動した場合は大阪府内で甚大な被害が発生するおそれがあります。

2026 年 8 月 28 日、政府の地震調査研究推進本部により「近畿地域の活断層の長期評価（第一版）」が公表され、近畿地域の M6.8 以上の地震を引き起こす可能性のある活断層が総合的に評価されました。

上町断層帯の主部区間では、最新活動時期が見直され、今後 30 年以内の地震発生確率を表すランクが S ランク（2%～3%）から Z ランク（ほぼ 0%～0.003%）に下がりました。一方で、新たに沿岸部区間を追加したことなどにより上町断層帯全体の長さが伸び（図 1）、全体が連動して活動した場合に想定される地震の規模は M7.5 程度から M7.7 程度と大きくなりました。この M7.7 程度の地震が発生した場合、大阪市やその周辺の広い範囲で震度 7 の揺れが想定されています（図 2）。

地震発生確率やランクは地域のリスクを知る上で参考になる情報ですが、「確率が低いから安心」ということはなく、「確率が低くても、発生すれば甚大な被害が生じるおそれがある」ことに注意が必要です。そのため、地震発生確率やランクが変更されても、とるべき防災対応に変更はありません。

上町断層帯が活動した場合、震源付近では緊急地震速報の発表より前に強い揺れに襲われる可能性があります。突然襲ってくる強い揺れに備えて、普段から家具の転倒や物の落下などへの対策をしておくことが重要です。

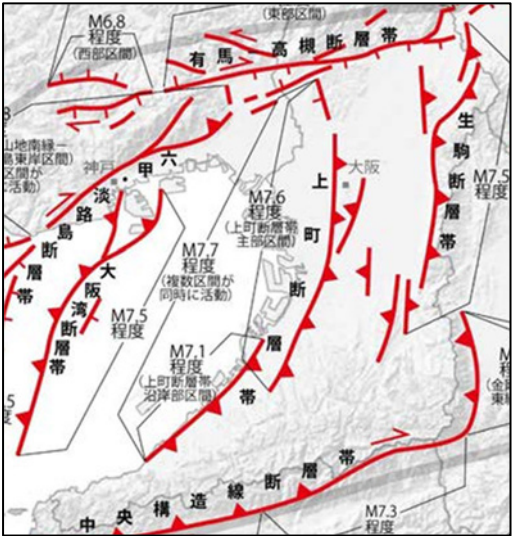


図 1 上町断層帯の位置

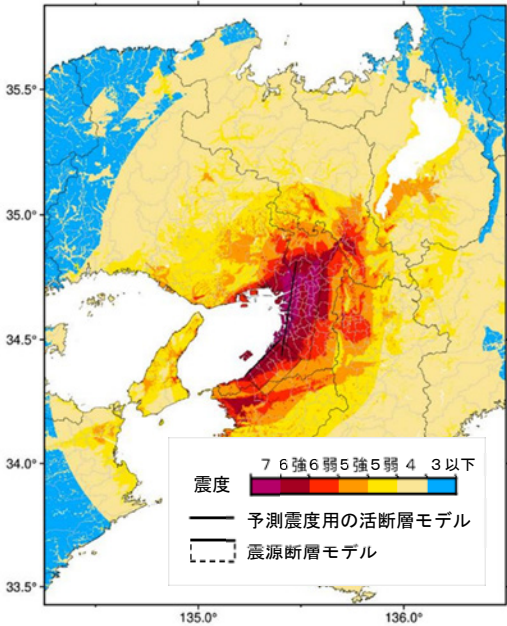


図 2 上町断層帯（全体）の地震による予測震度分布（簡便法）

強い揺れになる地域の広がりを目安を示したものです。実際は予測よりも大きな揺れになることがあります。

| 表 上町断層帯の改訂前後の評価 |                     |                      |
|-----------------|---------------------|----------------------|
| 断層帯名<br>区間      | 断層長<br>地震の規模<br>ランク | 断層長<br>地震の規模<br>(連動) |
| 上町断層帯           | 約 42km<br>M7.5 程度   | -                    |
|                 | Sランク                |                      |
| ↓ 改訂            |                     |                      |
| 上町断層帯<br>主部区間   | 約 43km<br>M7.6 程度   | 約 56km<br>M7.7 程度    |
|                 | Zランク                |                      |
| 上町断層帯<br>沿岸部区間  | 約 23km<br>M7.1 程度   |                      |
|                 | Xランク                |                      |

- S ランク：30 年以内の地震発生確率が 3% 以上
  - A ランク：30 年以内の地震発生確率が 0.1～3% 未満
  - Z ランク：30 年以内の地震発生確率が 0.1% 未満
  - X ランク：不明
- (過去の地震のデータが少ないため、確率の評価が困難)

図・表の出典：  
「近畿地域の活断層の長期評価（第一版）」（地震調査研究推進本部）を加工して作成  
[https://www.jishin.go.jp/evaluation/long\\_term\\_evaluation/regional\\_evaluation/kinki-detail/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/regional_evaluation/kinki-detail/)